

経済産業省「社会人基礎力を育成する授業」採択

プレゼンテーション系授業履修者の就職率・就職質が高いことに注目したライフデザイン学科では、2013年度より「プレゼンテーション演習Ⅰ・Ⅱ(2015年度よりプレゼンテーション演習Ⅰ)」を1年生の必修科目としました。この効果はすぐに現れ、経済産業省が推奨する社会人として必要な能力「社会人基礎力」が「どれだけ育成されたか」を競う「社会人基礎力育成グランプリ2014」に、プレゼンテーション演習Ⅰ・Ⅱを履修した学生がエントリー。近畿地区予選を勝ち抜き、全国大会出場を果たします。そして、地区予選を勝ち抜いてきた全国の四年制大学生を相手に、見事、全国2位にあたる準大賞に輝きました。また「プレゼンテーション演習」の就職率と就職質に直結したカリキュラムが評価され、経済産業省認定「社会人基礎力を育成する授業30選」にも採択されました。以上のことからライフデザイン学科のプレゼンテーション演習の授業は経済産業省が認める「社会人基礎力が身に付く授業」であるといえるのです。



文部科学省「大学教育再生加速プログラム」採択



かねてから学生が能動的に取り組む学び「アクティブラーニング」の充実に力を注いできたライフデザイン学科では、2014年度文部科学省が募集した「大学教育再生加速プログラム(以下、AP)」の「アクティブラーニング」「学修成果の可視化」の複合部門に応募、全国250校の中から採択されました。ライフデザイン学科では、AP採択により助成される5年間の予算を用いて2015年1月よりAP担当教員を採用、アクティブラーニング系授業の開発・充実に努めます。例えば2015年度より学生が提案し、自らが講師となって行う授業「ライフデザイン演習～社会人として必要なマナー」や“書く”楽しさを知り、それを“書く”能力の開発につなげる「アクティブライティング」を開講します。さらに学生が授業改善を行う学生FD活動の充実やアクティブラーニングを教員の能力に応じて行うのではなく、学生の必要性に応じて行うことができる状況の構築を目指します。

